

336-A地区 5R-1Z

丸亀ライオンズクラブ会報誌

No.954



LIONS

2014
1・2

2014 MARUGAME LIONS CLUB



「繋ぐ心でウィ・サーブ!」

「絆」



あつき情熱で燃える感動を "We Serve"

おもてなし・の心で



第60回 ライオンズクラブ国際協会336-A地区

地区年次大会

[と き] 2014年4月12日(土)・13日(日)

[と ころ] サンポート高松・JRホテルクレメント高松

ガバナーズ
スローガン
ときめく明日へ We Serve

第60回 地区年次大会のご案内

大会参加ご案内

拝啓 寒冷の候、貴クラブにはますますご健勝にてライオニズムの高揚に努められていることとお慶び申し上げます。

さて、第60回地区年次大会(高松市)も大会スローガン「あつき情熱で燃える感動をワイサーブ」のもと、準備を進めておりますが、はや登録の時期を迎えるようになりました。

各クラブの申請をご配慮いただき多数の会員のご参加をお願い申し上げます。

ライオンズクラブの会員であることは、 世界組織の一員です



丸亀ライオンズクラブ
第57代会長 L 大岡 信夫

本年度、会長として「繋ぐ心」「絆」をスローガンに、クラブ運営に携らせて頂いている中で、「ライオンズクラブの会員としての芯となるものを持つ事ができ、しっかりとそれを説明する事ができたら、会員の退会を防いだり、新会員の招請の際にも強くアピールができるのではないか」という思いを常に持っています。

会員としての芯とは、人の生き方に例えれば自らの生き方の判断となる基準、会社では社是や理念、家では家訓と言えるもの。つまり、何か困ったときや、判断に迷ったときにそこに戻って踏みとどまることができたり、再びやる気が起こるもの。もちろん、ライオンズクラブにもスローガンや、モットー、ライオンズの誓いがありますが、「ライオンズクラブを、もっと簡単で分かり易く、一言で説明できるフレーズや言葉はないか」という事です。

最近、国際協会からの家族会員プログラムを理解するうえで、その一つが見つかった感があります。それは、「世界的な組織の一人として、世界といつも繋がっている」という事です。私たちは、家庭、学校、地域、仕事、業界で色々な組織や、団体に属しています。しかし、その中で、世界組織の一員と言える団体はライオンズクラブ以外ないと思います。「一度限りの人生を、世界組織のライオンズクラブの1人として生きていける」素晴らしいことではないでしょうか？縁あって入会させて頂いたライオンズクラブを、「世界組織」としてもっと意識し、そこでのアクティビティーが出来る特権を持っている事を理解できれば、会員共通の絆とも言える「芯」が出来ると思います。この会員としての「芯」を持ち続ける事で、小異を気にせず、大同で入会したご縁も、ずっと続いて行くと思います。

話は飛びますが、折しも、来月4月13日は336-A地区の高松での年次大会。

世界組織の一員としての存在を身近に感じるこのことができるのがこの年次大会です。まず、参加してそれを感じて下さい。そして、引き続きその気持ちを持ち続け、皆さんがやりたいと思っていることをライオンズで実現させましょう。

年次大会プログラム

■指名選挙会

会場／サンポート高松(市民ギャラリー)

■代議員分料会

会場／サンポート高松

◇第1分科会

GMT・GLT・会則・プロトコール委員会・PR・ライオンズ
情報・大会参加委員会

◇第2分科会

青少年・LCIF・地域奉仕委員会・YCE・国際関係委員会

◇第3分料会

環境保全・保健福祉・アラート委員会

■一般会員交流

会場／香川国際会議場(タワー棟6F)

■大会式典

会場／サンポート高松 大ホール(3F)

■ガバナー晩餐会

会場／JRホテルクレメント高松(飛天の間)

■代議員総会

会場／サンポート高松 大ホール

■新入会員紹介



『水に還る』

Ｌ川田 匡文

昨年10月に入会させて頂きました川田匡文です。前の仕事は、(株)京極という屋号で町の水道工事屋さんの仕事を約40年程やっておりました。現在は長男が後を引き継いで頑張っております。私は丸亀で生まれ育ちましたが、親父の実家が琴南町美合、現在のビレッジ美合あたりで、親父の没後、少年時代、夏休みには殆どそちらの方で過ごしていました。当時は、まだ三頭トンネルが抜けてなくて、道行く車も少なく、山奥の様子を呈していました。道から谷へ下りてゆくと、そこには土器川の溪流が有りゴーゴーと音を立て何処までも澄み切った水が波しぶきを上げて流れています。溪流を少し下ると大きな落ち込みが有りまして淵を作っていました。当時親父から聞きましたが、「この淵は



『自己紹介とライオンズクラブに入会させて』

『自己紹介とライオンズクラブに入会させて』

Ｌ大庭正道

昨年11月に入会させて頂いた大庭正道と申します。昭和39年11月26日生まれですので、49歳になります。地元で建築関係の製品の加工、販売、工事などをさせて頂いております。

私自身は祖父の代からこの丸亀で商売をさせて頂いております。昔の話ですが、大学を卒業してしばらくは県外で働いていたのですが、休みになってこちらへ帰って、学生時代の友人にあつたときなどは、なんともホットしたことを覚えております。そのようなわけで、故郷への愛着がなくならない自分というものを考えた時、もちろん良い事ばかりあつたわけではありませんが、それはきつとここでたくさんの方に、お世話になったからだという事は、間違いな

探さが7メートルもあり底の方で渦を巻いておる、その昔の中に入つた子供が今だに出てこんそうだ」と、しかし地元の子供たちは、そんな事関係なし、格好のプールとしておきな岩の上からダイビングをしたり、発砲スチロールをたくさん浮かせて泳いだり潜ったり、時が経つのを忘れて遊びほうけています。いつしか私もその中に紛れて日が暮れるまで遊んでいました。先日、倉敷市の三井アウトレットパークへ訪れました。沢山の店舗が並び自然と調和した配置展開に大いなる感動を覚えました。その敷地内に小川が流れていました。人工的では有りますが人と水が親しく調和出来る極自然体で創られており、その中を確かにジマスと思う魚が群れを成して悠々と泳いでいたのが感動的でした。

今、私の夢は丸亀城のお堀に清水がこんこんと流れ込み、そこから流れ出した水が清流となって丸亀市街を流れ、その小川と調和した町並みが出来ること、人と水が親しく向き合える環境を創り、子供たちの心が水に還ることです。ライオンズの活動目標の一つとして、私の夢を実現すべく頑張っております。宜しくお願い申し上げます。

いと思っています。実は、今回ライオンズクラブへ入会させて頂いたことになったのは、現会長のL大岡様からのお誘いがあつたからです。仕事関係で、大岡様とは時折お話(きびしい(笑))をさせて頂いたたく間柄なのですが、いろいろと世間話をしているうちに、大岡様から、地域の方々から受けた恩や、それに対する恩返しという話を何度かお聞きすることがありました。

私自身も、「そうだな」と共感する部分が多々ありまして、ライオンズクラブという「ライオンズの誓い」を運ぶ列車に乗せていただくことになりました。ある会合で、団体組織というものは50年続けることはできても、100年続く組織はほんの数パーセントであるという話を聞くことがありました。ライオンズクラブは誕生しておよそ100年とお聞きしています。

これは紛れも無く、ライオンズクラブが運ぶ(継ぐ)理念が正しいものであることを証明しているように思っています。私自身微力ではありますが、その理念を汚すことのないよう努めてまいりたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

小豆島ライオンズクラブ 結成50周年記念式典

2月11日(火) 建国記念の日に、高松からフェリーに乗り、L植田誠一(5R-1Z-ZC)と共に参加致しました。現在、会員数38名、記念事業として、太陽電池の電波時計「ライオンズ時計塔」を国道に設置、及び「小豆島音楽フェスティバル」を開催されました。

小豆島国際ホテルでの記念式典には、浜田知事、松前ガバナーも出席され、小豆島に根差した数々の長年の奉仕活動に対して謝意を述べられました。小豆島の地域の発展に、小豆島ライオンズクラブの活動が大きく寄与されていることに気付かされた今回の記念式典への参加でした。

会長 大岡 信夫



小豆島ライオンズクラブ 50周年記念式典



第1368回例会 創立記念例会

歴代会長・終身会員・ 在籍25年以上の会員を称える会





ごあいさつ

丸亀ライオンズクラブ会長
L 秋山 簾

紺碧の瀬戸の海を通して、本州と四国を結ぶ瀬戸大橋の完成を6ヶ月後に控えて、今日、錦秋の佳き日を卜して、多数のご来賓の方々をはじめ、ブラザークラブの皆様をお迎えして、丸亀ライオンズクラブの創立30周年記念式典が、挙行されるに至りましたことは、私達会員にとりまして、この上もない喜びでありまして、一同感激にむせんでおります。会員一同に代わりまして、深く感謝し、衷心より御礼申し上げます。

本日は又、丸亀ライオンズクラブと姉妹結盟後17ヶ年を経過し、毎年相互訪問を続け、親善の実を挙げて参りました、台湾彰化県国際獅子会から、多数の会友諸賢が、遠路はるばるとご来訪の上、ご臨席を賜わり、錦上花を添えることが出来たことについて、深く御礼申し上げます。

丸亀ライオンズクラブは、昭和32年10月23日、高松ライオンズクラブをスポンサーとして、日本で42番目、336A地区で6番目に認承されました。爾来30年、この間歴代会長を中心に、友愛と奉仕を基調として、常に創造と革新を意図して、ライオニズムの昂揚を期し、躍進の道を歩んで参りました。これひとえに、スポンサークラブの適切なるご指導と、ブラザークラブの暖かいご支援の賜でありまして、深く感謝の意を表する次第であります。

私達はこの30周年記念式典を契機として、過去より培われてきた伝統精神を活かしつつ、更に進んで、一層の友愛と奉仕の実をあげたいと決意しております。特に今後は、地域社会とのコミュニケーションを更に密にして、地域に密着した奉仕活動に盡力したいと念願しております。

今後とも、変わらぬご指導とご支援を賜わりますようお願い申し上げます。

最後に、皆様のご健勝と、今後のご活躍を祈念して、ご挨拶にかえさせていただきます。

丸亀ライオンズクラブ30周年記念誌より

『私のライオンズクラブ 赤っ恥』

大橋 正明

ただ今、ご紹介いただきました大橋です。小松さんより、ライオンズについて何か話してほしいというご要望で、こんな題を選びました。来賓もいらつしやるなか、こんなことをお話ししているのかどうか大変心配です。恥の上塗りになるかもしれないが、お付き合いいただければ幸いです。

私は1980年9月の入会なので、今年で34年目になりました。

昨年、偽装表示という言葉が大変はやりました。実は、私、偽装表示入会です。ライオンズ必携には、「会員は、善良な徳性の持主で、地域社会において声望のある成人の中から厳選される」と書いてあります。早い話が「功成り名を遂げ、知人の何人もおつて、社会奉仕に精進しようか」という人が入るのがライオンズなのですが、私の場合、「功も成らず名も遂げず、知人がゼロ」で入ってしまった。社会奉仕団体と言うのも、入った後で認識しました。

実は、私18歳の夏休み、ほんの軽い気持ちで病院に行ったら、それから、何と4年間も病院に閉じ込められました。4年間、外出、外泊、風呂、シャワー一切無しです。初めから4年と言われた方が、よほど対処の仕方もあった筈ですが、本人は三日で退院するつもりでした。それが、秋になり、冬になり、春になり、そして、1年、2年、3年、4年、じつと病院。同じ病気ではたばた死ぬし、多分同級生にも見放され、自分自身も完璧に人生をあきらめたとき、突如、想像もしなかった退院をすることになりました。

それから、4年も5年も自宅療養をして、勤める訳にもいかず、親父の会社で、お袋の經理の手伝いをしていました。酒が飲めない、人付き合いたくもない、位ならいいのですが、見かけはともかく、頭の中が10年分人より遅れてしまいい、さすがに親父も「これではまずい」というこ

とになり、「ライオンズにでも入れてみるか」ということで、スポンサーをお願いしたのは、丸亀市内で、親父の唯一の知り合いだった、光建設の先代の津島さんです。

入会は、私の全くの預り知らぬところで決まっています。約束はただ一つ。「例会に、2年間は休まないように」だけでした。津島さんのご尽力で入会できたものの、入会式の後、津島さんにオニツクスというクラブへ連れて貰い、「ここにポトル置いとくといよ」と言われ、その後、何と一週間後に、津島さんのお葬式です。ご家族の方のお嘆きもさぞやと思いますが、私も悲しい。酒も飲めない、人間の出来も違う、しかも、知り合いで口でライオンズに入ってしまった。

「生きた心地がしない」というのは、こんな事を言うんではないでしょうか。「今日は、ライオンズ」と思うだけで、本当に頭が痛い、胃が痛い、熱が出る、肩がこる、行つてもボツンと座っているだけ。楽しみは、約束2年の例会回数が減っていくことだけ。自分のことですが、あまりに気の毒で涙が出ます。

それでも、ライオンズと言うのはありがたいものです。声をかけてくれる人も、二次会へでも行くかという話になり、きれいなお姉さんの一杯のお店へ行つてどうぞと言われると、不思議なことに、酒もだんだん飲めるようになるのです。しかし、普通の酒の失敗は、若いときにするもので、私は、酒の失敗は、ライオンズに入ってからやりました。記憶にあることも、記憶にないことも、このまま全部、お墓に持つて行くつもりです。

ライオンズへ入って、初めての役職は、テールツイスターでした。目立たないように、目立たないように、ひっそり生きて来たつもりですが、ある日突然、和田さんから電話があつて、「テールツイスターをやってくれ」「そんなの無理です、ようしません」と、二生懸命断りましたが、私の断り方がへたで、とうとうやらされてしまいました。

会長、和田さん、幹事、森さん、会計、高谷さん、テーマ、為定さんと言う、錚々たる布陣ですが、テールツイスターだけガクンと落ちます。私、未だに、和田さんが何を考へて、テールツイスターを選んだのかわかりません。もう一つの大問題が、ドネーションのノルマで、150万円。前年度は、惣田さんがテールツイスターで、実績140万円。しかし、引継ぎ例

会で、田所さんが、複合の大きな役をされたとかで、ボンと10万円出され、その日の合計が30万円。この記録は、未だに破られていないと思えます。その日、私が、代理のテールツイスターやらされたから、覚えてます。

私の推測は、普通に頑張つて120万円、死ぬほど頑張つて130万円。和田さんに、「絶対無理、逆立ちしても無理」と言いましたが、「出る限りでいいから」という、さだまさしの関白宣言みたいな科白でスタートすることになりました。「逆立ちしても無理」と言つた以上、逆立ちしても無理なところを見せないかんですが、本当に無理です。

でも、奇跡で起こるものです。どうにもならん、全く無理と思つたとき、スパー救世主が現れました。創立以来、事務局をされてきた鈴木さんが、9月に引退されて、代わりに、複合の事務局でアルバイトされていた山野さんが、入られたのです。いやー、救いの女神ついでるものです。何がすこいって、誕生日のお祝いを山野さんと一緒に持つて行くと、ドネーションが千円から3千円になりました。しめたとはばかり、何かにつけて、山野さんを引張り出し、一緒にお祝いに回るだけで、ドネーションが集まること、集まること、いやー、本当に、救いの女神ついでるものです。

おかげ様で、ノルマの心配がなくなるので、次は、密かに思つてたテーマがあります。何を考へたのか全員参加型ドネーション。山野さんにお願ひして、内緒でドネーション名簿を作つていただきました。能無しの上、甲斐性無しなのですが、「ドネーションください」とはよう言えんのですが、まだ、貰つていない人がいると、隣に座つて酒を注ぐだけです。催促など一切していませんが、その内には皆様に協力いただけました。名前を消して行くのがうれい。めつたに出来ない会員さんが、たまに來られると、嬉しくて、笑いが止まりません。

テールツイスターのときの、一番恐ろしかった経験です。私が入会した頃は、チャーターメンバーも若く元気一杯で、熱心なあまり、たまに大激論になることがありました。私から見たら、クラブ挙げての大ゲンカにしか見えませんでした。たが、私が浅はかなだけで、本当は、前向きかつ建設的な意見の応酬です。ただ、一度殆まるど簡単に終わらない。本来なら、テーマ、テールツイスターが、どこかで止めるのですが、会長で

さえ無理なのに、止められる訳がありません。

およばずながらも、気を付けていたつもりですが、和田会長が何かの事業報告をしたところ、誰かが、ぱつと手を挙げて、その件は、いつ、誰の承認を得たのかと言う質問が出ました。「げつ、大抵のことは覚えていたつもりなのに、全く記憶にありません。血の気が下がるので、本当です。身の毛がよだつて、このことかと思ひました。しかし、和田会長、慌てず騒がず、「それは、何年何月の理事会、並びに、何年何月の例会で承認されています」と答え、「それならよろしい」とすつと収まりました。ああ、そうだった。記憶にないのも当然、前会長の高橋さんのときに、決まつた話だったので、やれやれと、胸をなでおろし、これが一番恐ろしかった経験です。以来、二十数年、ありがたいことに、例会での議論白熱化を見たことはありません。

こんなんで、偽装表示入会をばらしてしまいました。34年も粘つたので、出れば、後16年粘つて、谷さんの50年を目指させていたきたいと思ひます。

入院で、人生は落ちこぼれましたが、時にいいこともあります。ソチのオリンピック選手のように、期待に応える人生も素晴らしいと思ひますが、誰にも期待されない人生は気楽です。それと、私には、どんなに不出来であろうと、若いとき、4年も入院していたからと、言い訳ができません。言い訳が効く人生というのはありがたい限りです。最近、ボケも進行して、ますます言い訳に困ります。

しかし、言い訳は効くかもしれないが、偽装表示入会とか、人生の初めに、ゴロゴロ寝るだけで、10年間無駄飯を食つた分を返してくれと言われても無理です。お世話になつた分は、これから少しづつでも、世の中とライオンズにお返しして行くしかありません。意欲と熱意はあれども能力なし、と言つのが、恥ずかしながら、私の赤っ恥です。

最後に、「4年も入院して、どこが悪かつたんですか」と聞かれることがあります。その頃、患者の間で、脳が悪いという言葉が流行して、私も、「いやあ、頭がちよつと悪くて」と答えましたら、びつくりされて「それだけじゃないですよ」「すみません、顔もです。本当は体型も」と言うことで、大変おさまつ様でした。ご清聴ありがとうございました。

ライオンズクラブ国際協会336-A地区

2014～2015年度

第2副地区ガバナー立候補予定者所信

このたび、ライオンズクラブ国際協会336-A地区第2副地区ガバナーに立候補致しました5R-2Z こんぴらライオンズクラブ所属の真鍋隆でございます。

私は、1983年に27歳で入会させていただき、多くの出逢いがあり大きな財産となりましたし、ライオンズクラブが大好きで30年間に楽しい思い出がいっぱい出来ました。また、「立場(役職)は、人を育てる」という言葉をモットーとして、クラブ・ゾーン・リジョンの役職を務めさせていただき、そして成長させていただいたと思っています。

2014～2015年度の第2副地区ガバナー候補者に、所属クラブのこんぴらライオンズクラブ、5Rの皆様からご推挙いただきまして、誠に名誉なことでありますと共に責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いで一杯です。

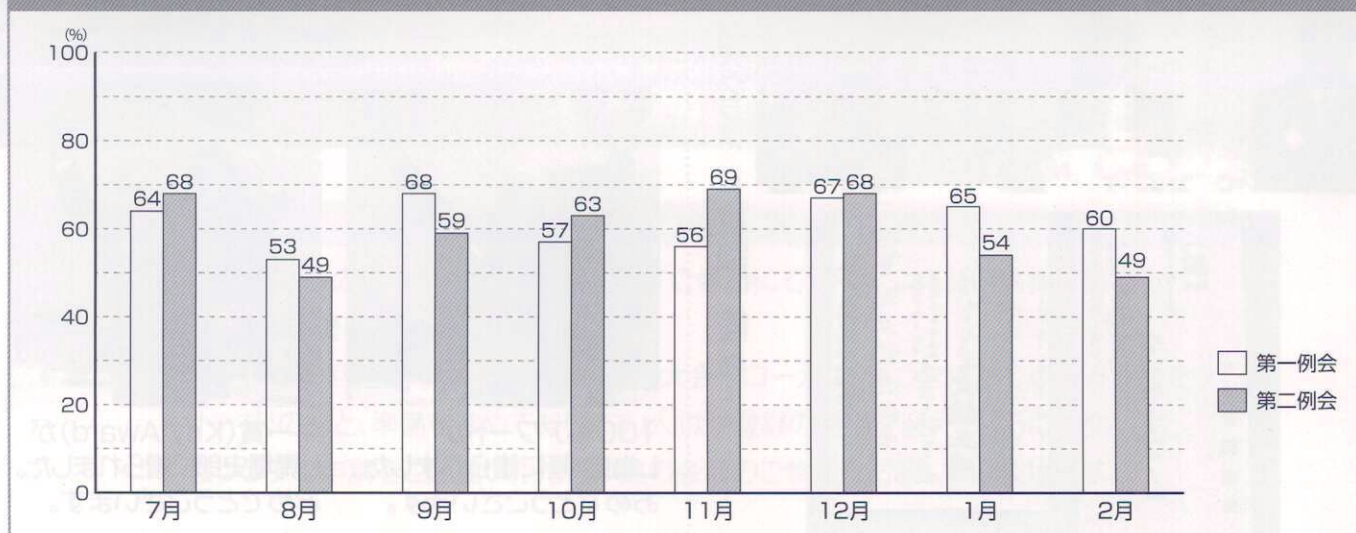
私も立候補させていただきましたからには、ライオンズの崇高な精神・誇りを胸に過去において身に付けた経験を活かし、また、国際会長、地区ガバナー、第1副地区ガバナー、地区名誉顧問の方々のご指導を受け、更なる勉強をさせていただき、336-A地区全ての単一クラブが楽しくて活力にあふれ、そして地域に益々尊敬と親愛されるクラブ作りの発展に、少しでもお手伝いができるよう精進致したいと思っております。

336-A地区のクラブメンバーの皆様のご指導、ご鞭撻を切にお願い申し上げます、また、149クラブのご発展と会員の皆様方のご健勝、ご活躍を心からお祈り致しまして、所信のことばとさせていただきます。どうぞよろしくようお願い申し上げます。

ライオンズクラブ国際協会336-A地区
第2副地区ガバナー立候補予定者
5R-2Z こんぴらライオンズクラブ

真 鍋 隆

丸亀ライオンズクラブ例会出席率(推移) 2013～2014年



第1366回例会

日時：平成26年1月16日(木)
会場：オークラホテル丸亀

行事
メンバースピーチ
L藤岡 勇

演題
「地域観光への
取り組み」



多度津ライオンズクラブ
結成50周年記念誌
編集委員長
L新田 正徳 様
幹事
L新居 雄二 様

第1365回例会

日時：平成26年1月4日(土)
会場：オークラホテル丸亀

行事「新年例会」

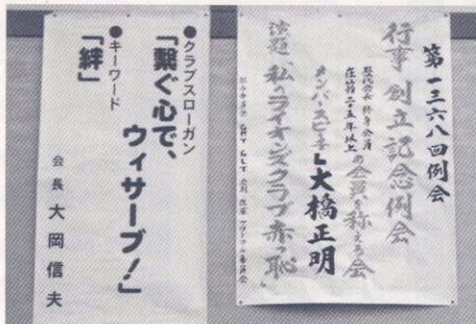


L谷文数と年男の鏡開き

第1368回例会

日時：平成26年2月20日(木)
会場：オークラホテル丸亀

行事「創立記念例会」



◀こんぴらライオンズクラブ L真鍋 隆 様

第1367回例会

日時：平成26年2月6日(土)
会場：オークラホテル丸亀

行事
メンバースピーチ
L植田 誠一

演題
「世界の四方山話し」



100%アワードが
L為定 隆に贈られました。
おめでとうございます。



キー賞(Key Award)が
L馬場史郎に贈られました。
おめでとうございます。

第1368回 創立記念例会

日時 平成26年2月20日(木)

場所 オークラホテル丸亀

担当/GMT・GLT・会則・改革・プロトコール委員会



創立20周年記念誌より式典の様子



L大橋正明メンバースピーチ



ライオンズクラブ国際協会336-A地区5R-1Z
丸亀ライオンズクラブ発行

事務局/〒763-0011 丸亀市富士見町3-3-50 オークラホテル丸亀内
TEL(0877)22-6356
URL/ <http://marugame-lions.jp>
E-mail/ info@marugame-lions.jp

会長/大岡 信夫 幹事/内海 雅博

編集発行責任者/田中 祥友 (PRライオンズ情報大会参加委員長)